磯津悪臭調査

公害認定患者でもある英生さんから「現代の公害や」と言われていた南町方面に顕著な異臭・悪臭。「ひどいときに電話したるでオマエも嗅ぎに来い」と言われていたのですが、英生さん、遠慮して電話はしてみえませんでした。

でも、気になっていたので先日、危機管理室に出向いたとき、環境保全課にも寄って地図も広げ調査をお願いしてきました。英生さんに「ポンプ場があるやろ」と言われていたのですがいつ行っても閉まっています。近くの畑のオバサンに聞いたら、1日に1回は下請けのメンテの人が来るらしいのですが会えません。下水系統は前（No19 磯津通信）お知らせした吸気管とは別に雨水・家庭浄化槽や魚処理の排水が流れ込む系統があるようです。

11日四日市市の上下水道局に出向きました。対応していただいたS主幹の方がとても心配して下さって現地立ち会いをして下さると言うのです。恐縮したのですが、次の12日1:30待ち合わせでポンプ場に入れていただくことでお願いしました。

英生さんと二人で行くと、何と10人を越える方が（関係部局をすべて連れてきましたとS主幹）待ってみえてポンプ場のタンク（臭いをかいで、硫化水素かな測って）裏の機械室も見、外に出て各マンホールを開けながら、排水口まで調査をしました。マンホールもさび付いて多くがあけることもできません。下水の溝の異常なさび方をしている鉄のふた、排水口末端の空気弁も異常に腐食していました。

「関係部局でできることや下水につなぐなどの普及啓発を」と話され、関係部局皆さんみえるので、すぐできることなど打ち合わせてみえました。

英生さんは今までも何度も市や自治会長さんを通してお願いしていますから、調査をして行かれても「あいつらの暇つぶしに来ている」ぐらいにしか思っていません。今日も1日のうちに周期的に臭いがします。（きっと、ポンプを動かす時間と符合しているのかも知れません。）海に排出する排水口は大きな口が４本開いて（右写真）、かなり悪臭がします。潮が引くともっと臭いがきついと言います。夏は南風で町の方に臭いが流れます。冬はどんよりした日がひどいと言います。朝散歩してると楠の浄化センターもこの頃よく臭うようになったと言います。

声を上げる大切さを英生さんは教えてくれます。